第２号様式（第２２条関係）

建物被災申告書

年　　月　　日

鎌ケ谷市消防長　様

届出者　住　　所

　　氏　　名

　　生年月日　　　　　　　　（　　歳）

　　職　　業

　　電話番号

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 被　災年月日 | 　　　　年　　月　　日 | ①被災物件と届出者との関係 | 占有者・管理者・所有者その他（　　　　　　　） |
| 被災物件の所在地 | 鎌ケ谷市 |
| ②建築・取得年月 | ③　建築又は取得金額 |
| 　　年　　月 | １坪当たりの金額（円） | 総取得金額（円） |
|  |  |
| ④　取得後の経過 |
| 修繕・改築 | 　　年　　月 | 修繕・改築した箇所及び金額（円） |
|  |
| 増築 | 　　年　　月 | 増築の概要及び金額（円） |
|  |
| ⑤　被災前の建築概要 |
| 建物用途 | 屋根 | 外壁 | 階数 | 建築面積 | 延べ面積 |
|  |  |  |  | ㎡ | ㎡ |
| 居住世帯数 | 世帯 | 居住人員 | 人 |
| ⑥　火災保険の契約状況 |
| 契約保険会社 | 契約年月 | 保険金額（万円） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 備考 |

記載上の注意事項

（注意事項）

１　この届出は、消防法第３４条に基づいて提出を求めるものです。

２　この届出の提出がなければ、被災証明書を発行できない場合があります。

３　この届出は、被災した建物１棟ごとに１枚記載するものとし、原則として、被災した日から起算して７日以内に提出してください。

（記載要領）

４　①の欄は、被災物件と届出者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

５　②及び③の欄は、建築・取得年月日及び金額の記載された書類等が残っている場合は、書類に記載されている年月及び金額を記載するものとし、焼失している場合は、推定年月及び金額を記載してください。

６　④の欄は、建物を取得してから、被災するまでの間に修繕・改築又は増築をした箇所及び部分と、それぞれに要した金額を記載してください。

　記載例

　（修繕の場合）　２年前に台所のシステムキッチン（約２０万円）

　（増築の場合）　平成４年３月に東側の２階居室約１０㎡（約１２５万円）

７　⑤の欄は、建物用途欄は、住宅、共同住宅、店舗、倉庫、工場、店舗兼住宅のように実際に使用している用途を記載してください。なお、建築面積とは、建物の１階部分の面積をいい、延べ面積とは、建物の全体の面積をいいます。居住世帯数欄は、原則として生計を同じくする者を１世帯として記載してください。

　（記載例）

建物用途 　屋根　外壁 　　階数 建築面積 延べ面積

共同住宅 　瓦葺　モルタル　　２ ４９．５㎡ ８２．５㎡

居住世帯数　１世帯　居住人員　４　人

８　⑥の欄は、契約対象欄は、火災保険証書に記載されている建物・家財等の保険対象を記載してください。

不明な点がございましたら次のところへご連絡ください。

（問い合わせ先）　　鎌ケ谷市消防本部予防課　　　０４７－４４４－３２７３

　　　　　　　　　　鎌ケ谷市中央消防署　　　　　０４７－４４４－３２２２

　　　　　　　　　　鎌ケ谷市くぬぎ山消防署　　　０４７－４４２－１１１９

　　　　　　　　　　鎌ケ谷市鎌ケ谷消防署　　　　０４７－４４２－６１１９